

## 東京大学工学部見学

令和4年10月4日(火)

広島市立基町高等学校 2年生 進路別研修「機械・電気コース」28名参加

### ■時程

- 14:00 東京大学本郷キャンパス正門集合
- 14:15～14:25 大学紹介  
東京大学大学院生による東京大学や大学生活の紹介
- 14:30～15:15 模擬講義  
佐久間一郎教授「医工融合研究による医療技術開発」  
～医用精密工学，生体医工学のすすめ～
- 15:30～16:45 研究室見学  
4グループに分かれて4研究室を見学
- 16:45～17:30 学内散策

### ■感想

- ・工学と医学が同じキャンパスにあるということで、それぞれ独立してではなく、連携した研究を行っていた。自分のする研究は他の誰もやったことの無い研究だという言葉に深く感銘を受けた。これからは、日常の中の素朴な疑問を無視せず、探究する心を忘れないようにしながら、生きていきたいと思う。また、誰かの役に立てるような研究ができればいいなと思った。
- ・東京大学では、工学部でも機械だけでなく医療系にも関わっていることを初めて知った。自分の興味のある音響でも医療と関わって社会貢献ができることを知って、このことを研究してみたいと思った。まだ知らない音響学の可能性を知れたので、もっと音響学が社会に貢献できることを調べたいと思った。
- ・東京大学に行って知ったのは、堅苦しいイメージと違って皆が自由に、自分の興味のあることを探求しているということです。自分の興味を追求することがあんなにも楽しいかと思うと早く大学に行きたくなりました。また、使っている器具がどれも高額だったので、大学に入ったら機器は大切に扱おうと思いました。
- ・最先端のバイオエンジニアリングの技術について知ることができた。医学と工学はあまり関係ないと思っていたが、医療機器の発達とともに医学と工学の連携が不可欠であるとわかった。

- ・研究室見学、模擬講義や、東大生の生の声を聞けたので、大学についての知識を増やすことができた。また、テーブルの隅から隅まで置いてある実験道具などを目の当たりにして、大学は高校と違って莫大な予算を使って、未知の世界に挑戦しているということを実感した。
- ・複雑な機械でいっぱいの研究室を巡るのは、とても楽しかったし、ワクワクした。また、研究の応用→基礎の順番で見て回れたので、最新の研究の基礎にはこのようなものがあったのかと、大変興味深かった。



